

症例検討 2

舌病変の一例

江原道子 (DDS)¹、松原誠 (DDS)²、中尾寿奈 (DDS)¹、
落合隆永 (DDS)¹、石橋浩晃 (DDS)²、住友伸一郎 (DDS)²、
村松泰徳 (DDS)²、永山元彦 (DDS)¹

¹朝日大学歯学部口腔病理学分野

²朝日大学歯学部口腔外科学分野

舌

年 齡：70歳代

性 別：女性

採取方法：擦過

採取器具：歯間ブラシ

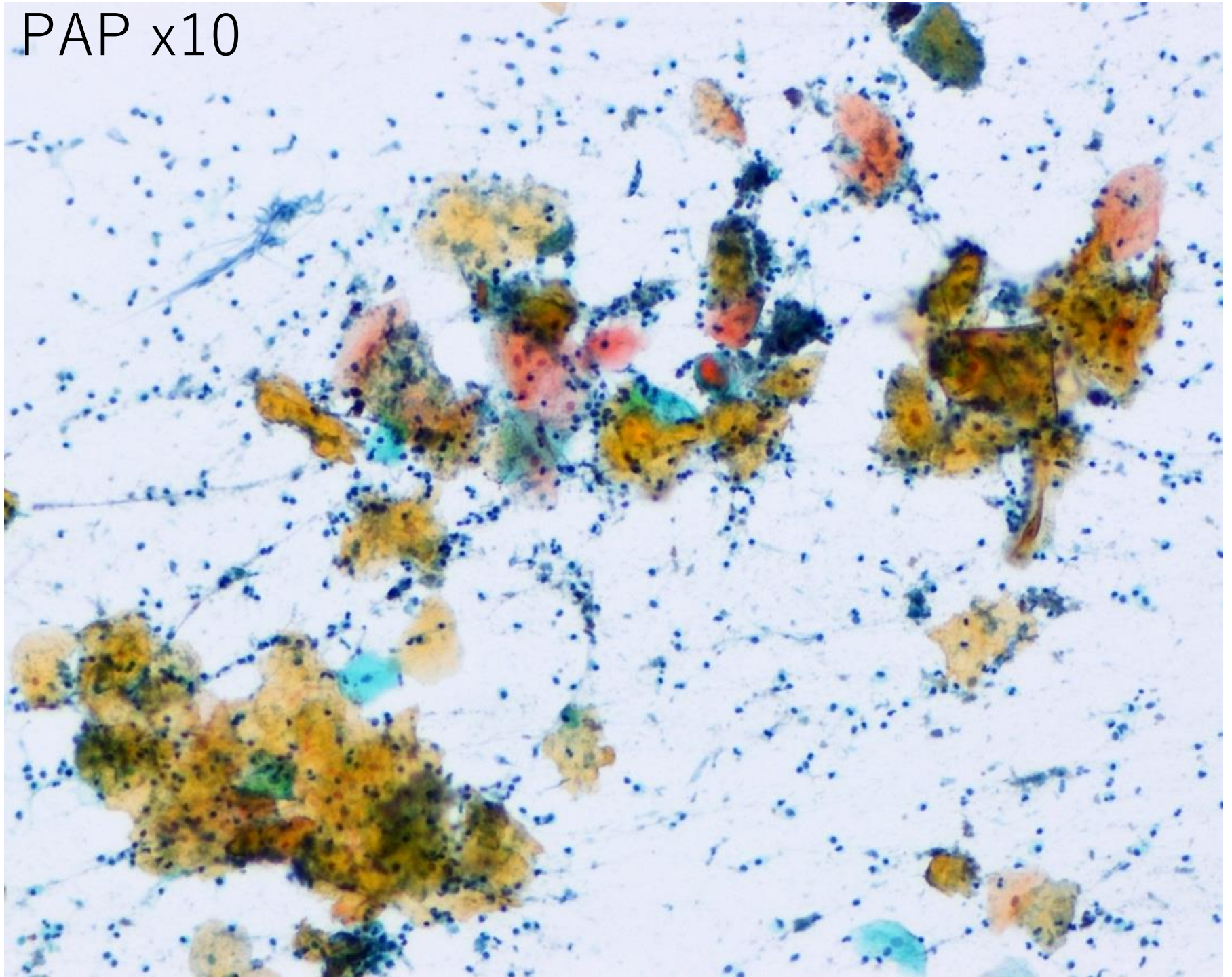
臨床経過：以前より舌縁部に白色病変を認めていたが、最近になって、白い部分が盛り上がってきたため、受診された。

臨床診断：白板症

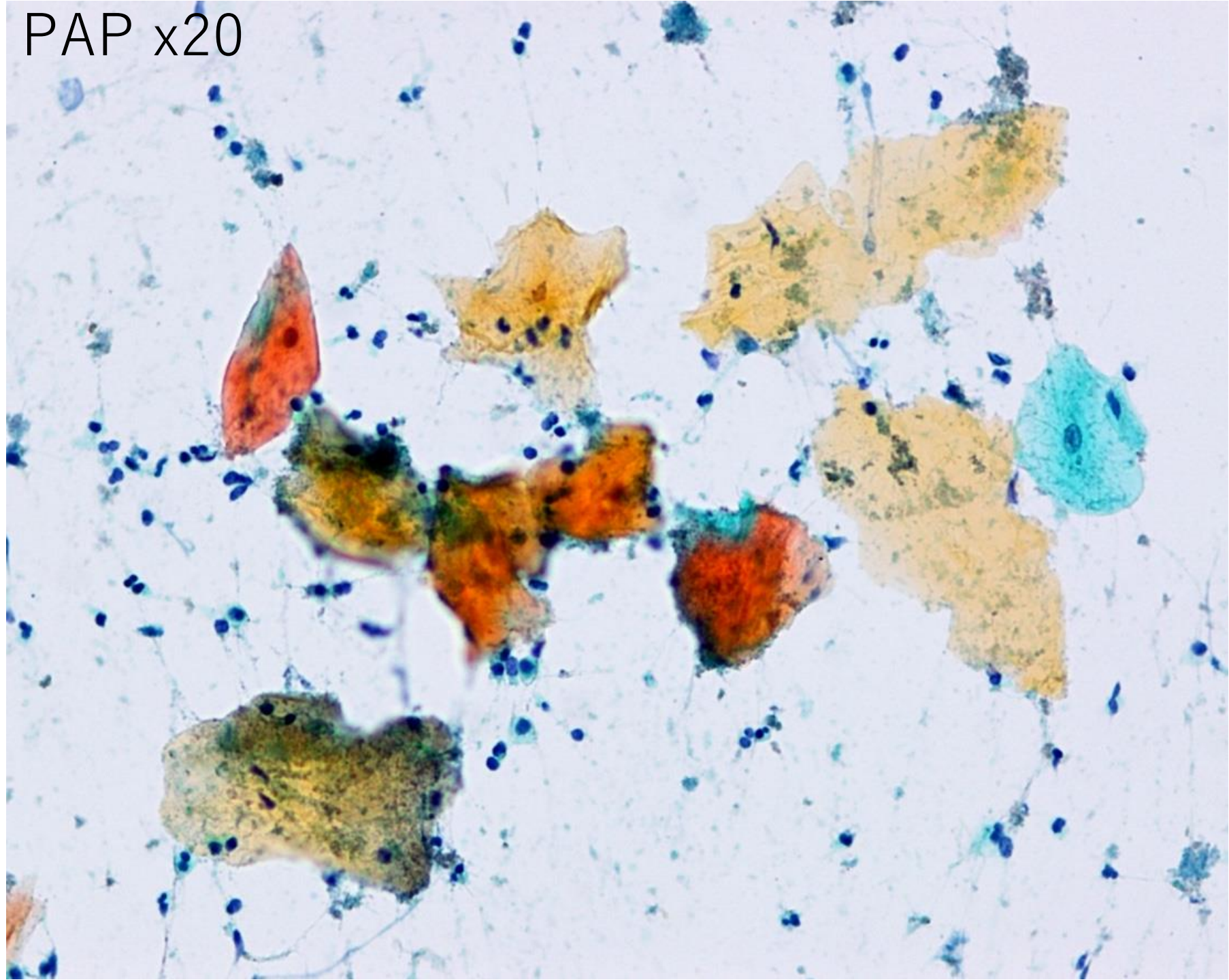
口腔内写真

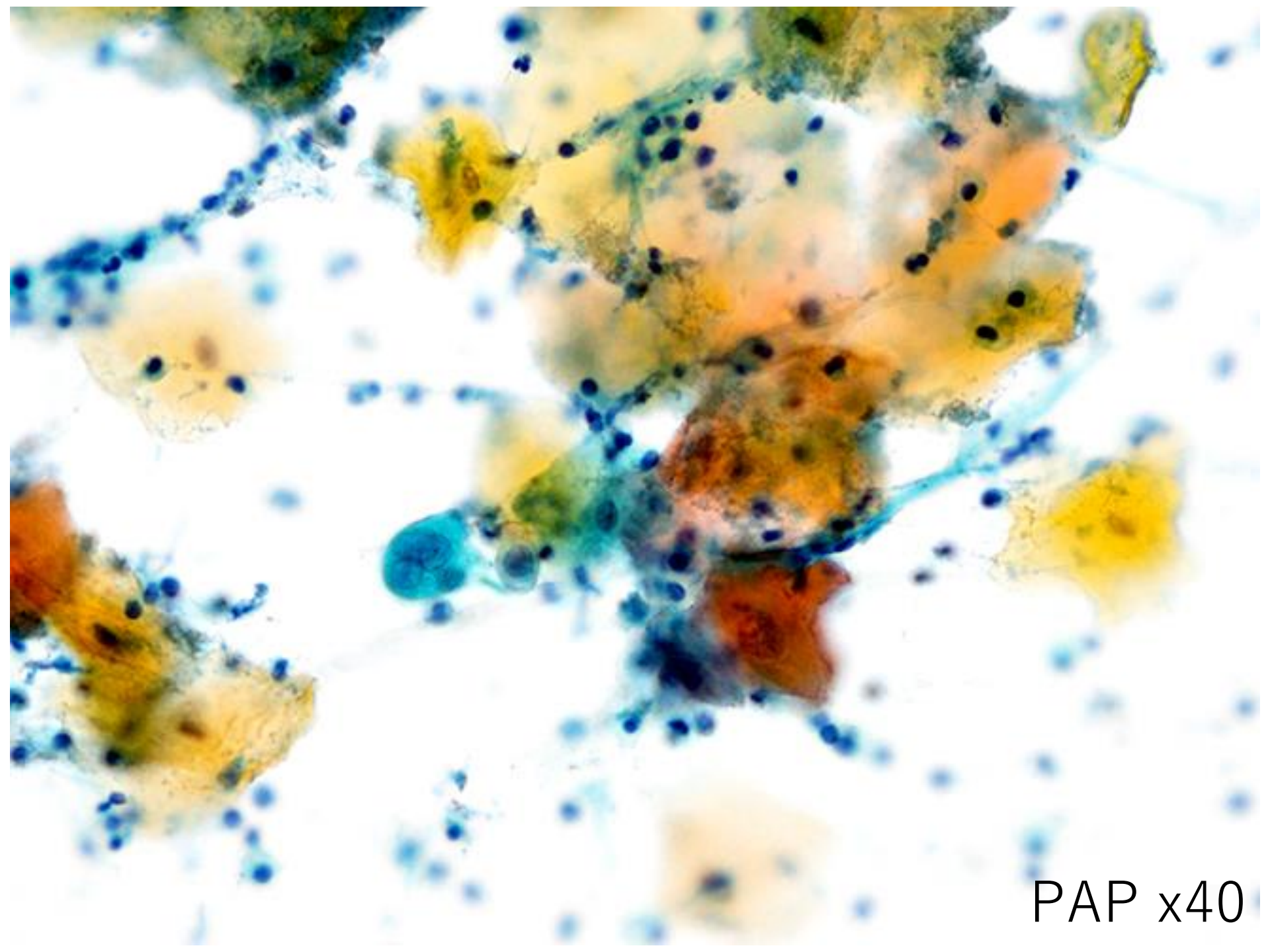


PAP x10

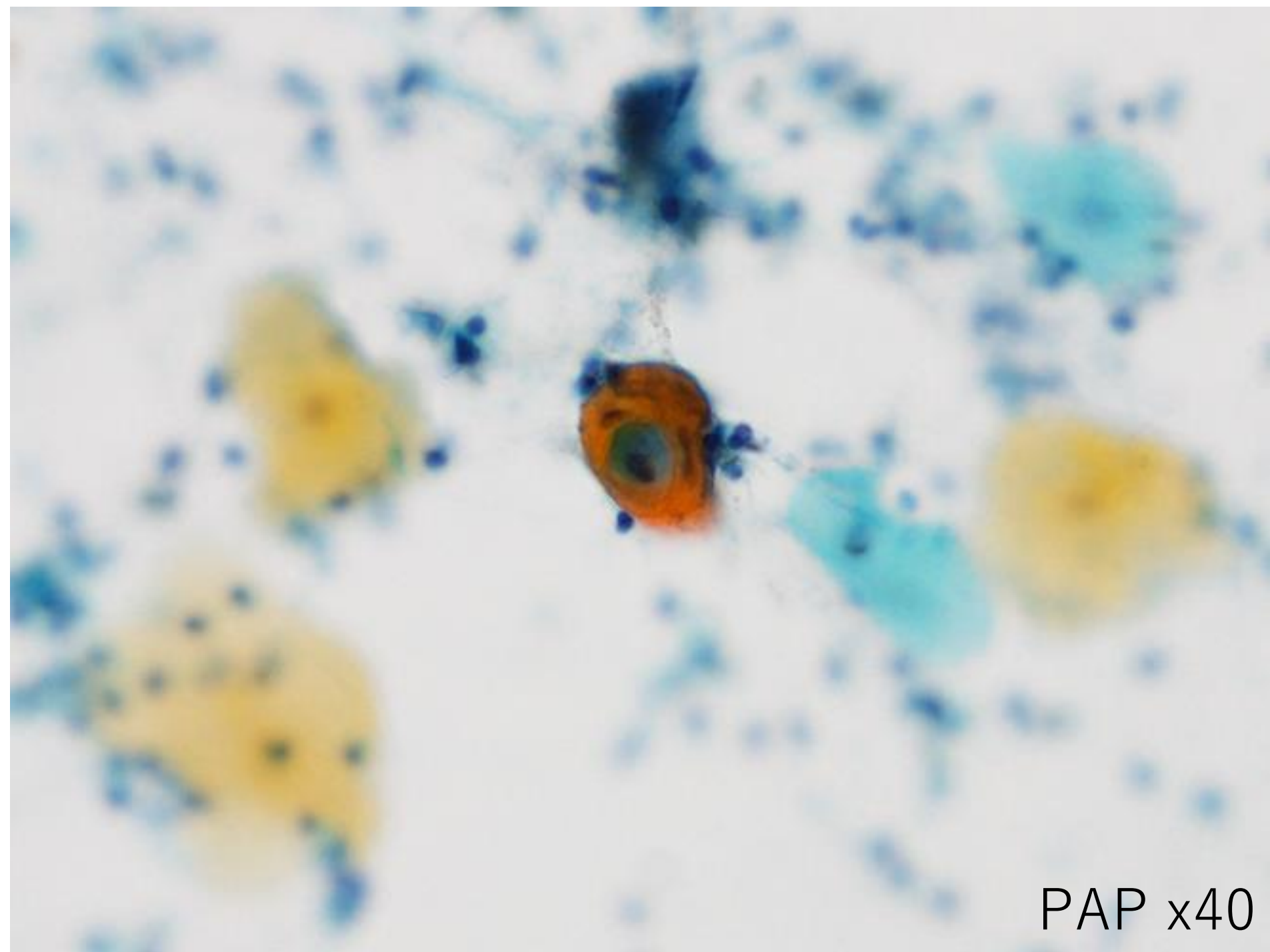


PAP x20





PAP x40



PAP x40

判定名/推定組織型

1. NILM / 扁平苔癬
2. NILM / 過角化症
3. LSIL / 低異形度口腔上皮性異形成
4. HSIL / 高異形度口腔上皮性異形成
5. SCC / 扁平上皮癌

こちらを[クリック](#)して回答に進んでください。